

お知らせ

日本熱帯農業学会 第131回講演会および2022年度総会について

期 日 2022年3月15日(火) 9:00~16:30 (一般講演, 総会, 懇親会)
16日(水) 10:00~15:30 (一般講演, 公開シンポジウム)
場 所 オンライン開催 (Zoom で実施)

事務局 〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央 3-21-1
運営委員長 佐藤 達雄
運営委員 浅木 直美・坂上 伸生・西脇 淳子
TEL・FAX: 029-888-8552 (浅木 直通)
E-mail: jsta131@ml.ibaraki.ac.jp

参加費 一般: 3,000 円、学生: 2,000 円 (要旨集 (PDF) 代を含む)
懇親会費 無料 (oVice を使い遠隔で実施)

- ◆ **参加申し込み期日を3月7日(火)まで延長**します。以下の Google フォームよりお申込みください。 <https://forms.gle/hPcZF8LxT7qoC5UM6>
- ◆ 参加者には Zoom の URL とパスワードを事前に配布します。当日参加はできませんので、ご注意ください。
- ◆ 3月16日の公開シンポジウムにはどなたでも無料で参加できます。以下より登録ください。
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfDm_OG8uKSN70BCdTA4MSnjAcEKm5K7wf8U48x5T7uiW1hTQ/viewform?usp=sf_link

公開シンポジウムへのお誘い

テーマは「カカオとチョコレート~Towards the Future~」。小規模カカオ農家の状況とそれに関連したチョコレートの生産・加工・流通について、国内外の報告者が最新の研究や動向を紹介し、議論を行います。どなたでも無料でご参加いただけます(事前登録が必要)。チョコレートは世界中で愛されており、近年商品の幅も広がっています。一方でその原料となるカカオの生産については、原産地となる熱帯地域の小規模農家における高齢化や知識・情報の不足といった問題により、原料生産から消費に至るグローバルな流通プロセスの持続可能性が重要となっています。



今回のシンポジウムでは、世界第3位のカカオ豆生産量を誇るインドネシアにおけるカカオ栽培の問題点やカカオを通じた農業振興、カカオの栽培からチョコレート作りまでを手がける Farm to Bar や地域に根差したマーケティングなどの最新の取り組み、カカオ豆の発酵のメカニズムや味覚の決定要因に関する学術的知見などを国内外の報告者が紹介し、総合的な視点からカカオとチョコレートについての未来を展望します。

講演会 研究発表（発表 12 分、質問 2 分 30 秒） ◎印は学生優秀発表賞審査対象

第 1 日 3 月 15 日（火）

開始時刻	第一会場			第二会場		
	座長	番号	講演題目	座長	番号	講演題目
9:00		1	◎種子への熱処理が乾燥下のソバの生育と生理反応におよぼす影響 *西田梨乃 ¹⁾ ・近藤友大 ²⁾ ¹⁾ 宮崎大学地域資源創成学部・ ²⁾ 京都大学大学院農学研究科		12	異なる播種時期におけるネリカ品種の生育および収量の比較 *加藤盛夫 ¹⁾ ・芝崎まりえ ²⁾ ・浦山久 ³⁾ ¹⁾ 筑波大学生命環境系・ ²⁾ 筑波大学生物資源学類・ ³⁾ 海外農業開発協会
9:15		2	◎硫化水素の施与がバングラデシュのダイズ品種 AGS313 の塩ストレス耐性に及ぼす影響 *秦泉寺湧太・近藤友大・樋口浩和 京都大学農学研究科		13	タンザニアのイネ品種における日長反応性 *加藤太・永森慎人・佐々木大・倉内伸幸 日本大学生物資源科学部
9:30	志水勝好・鹿大	3	◎黒ボク土の土壌 pH がパッションフルーツの栄養障害とミネラル吸収に及ぼす影響 *蓑輪幸大・近藤友大・樋口浩和 京都大学農学研究科	坂上潤一・鹿大	14	Effect of Soil Types on the Growth of Photoperiod Sensitive Rice Varieties under Controlled Environment in Cambodia *Chanthol Uch ^{1),2)} ・Sophoanrith Ro ³⁾ ・Siranet Roern ³⁾ ・Mana Kano-Nakata ²⁾ ・Akira Yamauchi ²⁾ ・Hiroshi Ehara ²⁾ ¹⁾ International Rice Research Institute, Cambodia Office・ ²⁾ Nagoya University・ ³⁾ Royal University of Agriculture・Cambodia
9:45		4	◎ Characteristics of Wood Biomass Gasification *Christian Paul Kolonel・Satoshi Yoshino・Takayoshi Sato Department of Forest Science, Tokyo University of Agriculture		15	Nitrogen, carbohydrate and amylose contents in the grain of Cambodian rice varieties grown in different areas *Srun Khema ^{1),2)} ・Soriya Rin ^{2),3)} ・Akiko Fujita ⁴⁾ ・Kea Kong ¹⁾ ・Chhay Ngin ¹⁾ ・Mana Kano-Nakata ²⁾ ・Akira Yamauchi ²⁾ ・Toru Tashiro ²⁾ ・Hiroshi Ehara ²⁾ ¹⁾ General Directorate of Agriculture, MAFF-Cambodia・ ²⁾ Nagoya University・ ³⁾ Royal University of Agriculture, Cambodia・ ⁴⁾ Satake Corporation

10:00		<p>◎サトウキビ生育初期における乾燥ストレス耐性に資する形態的・生理的特性 *勝濱直椰・田丸翔太郎¹⁾・藪田伸²⁾・坂上潤一²⁾ 鹿児島大学農林水産学研究科・¹⁾鹿児島大学連合農学研究科・²⁾鹿児島大学農学部</p>		<p>16 フィリピンにおけるイネ品種 x 環境 x 栽培管理の相互作用評価 *仲田 (狩野) 麻奈^{1),2)}・Roel R. Suralta³⁾・Maria Corazon J. Cabral^{1)・3)}・中村倫理¹⁾・Via Ann Marcelo³⁾・Antoinette S. Cruz³⁾・三屋史朗¹⁾・山内章¹⁾・江原宏²⁾・Jonathan M. Niones³⁾ ¹⁾名古屋大学大学院生命農学研究科・²⁾名古屋大学農学国際教育研究センター・³⁾フィリピン稲研究所</p>
10:15	加藤盛夫・筑波大	<p>6 ライシメーターを用いたサトウキビ×エリアンサス属間雑種の硝酸態窒素溶脱の評価 *寶川拓生・岡本健・寺島義文・安西俊彦 国際農林水産業研究センター熱帯・島嶼研究拠点</p>	坂上伸生・茨城大	<p>17 ◎Emergence and early growth in upland rice seed coated with nutrient fertilizers *Rodolphe Noubiap Watchou^{1),2)}・Akira Miyazaki¹⁾・Kamal Shrestha¹⁾・Mitsukazu Sakata¹⁾ ¹⁾高知大学農林海洋科学部・²⁾JICA カメルーン</p>
10:30		<p>7 スイートソルガムの緑肥利用がウコンの収量と品質におよぼす影響 *浅木直美・坂上伸生 茨城大学農学部</p>	大	<p>18 ◎ Effect of P-dipping priming on rice resilience to water and nutrient stress under rainfed lowland *Emmanuel ODAMA¹⁾・Yasuhiro TSUJIMOTO²⁾・Shin YABUTA³⁾・Jun-Ichi SAKAGAMI³⁾ ¹⁾The United Graduate School of Agricultural Sciences, Kagoshima University・²⁾Crop, Livestock and Environment Division, JIRCAS・³⁾Faculty of Agriculture, Kagoshima University</p>
10:45	香西直子・鹿大	<p>8 パッションフルーツにおける閉鎖系迅速光合成測定装置を用いた個葉光合成測定の検討 *松田大志・寶川拓生 国際農研熱帯島嶼研究拠点</p>	宮崎彰・高知大	<p>19 ◎コートジボワールの異なる稲作栽培生態系における経済的、環境的持続可能性の評価 *落合智佳子¹⁾・Elliott Dossou-Yovo²⁾・岡田謙介¹⁾ ¹⁾東京大学農学生命科学研究科・²⁾AfricaRice Center</p>

11:00	9	八重山地域における梨地フィルムを用いたマンゴー‘アーウィン’日焼け果の軽減 *伊波聡・井上裕嗣・玉城盛俊 沖縄県農業研究センター石垣支所	20	◎Stomatal Conductance and Morphology of Crops Response to Soil Moisture Status and Air Temperatures *Phanthasin KHANTHAVONG ^{1),3)} ・Shin YABUTA ²⁾ ・Jun-Ichi SAKAGAMI ²⁾ ¹⁾ The United Graduate School of Agricultural Sciences, Kagoshima University・ ²⁾ Faculty of Agriculture, Kagoshima University・ ³⁾ Maize and Cash Crops Research Center, National Agriculture and Forestry Research Institute, Vientiane, Laos
11:15	10	加温ハウス栽培におけるマンゴー9品種の果実品質等の特性 *内野浩二・腰替大地 鹿児島県農業開発総合センター	21	◎トウガラシ (<i>Capsicum spp.</i>) の高温回避メカニズムの解析 *後藤啓太 ¹⁾ ・田丸翔太郎 ¹⁾ ・藪田伸 ²⁾ ・坂上潤一 ^{1),2)} ¹⁾ 鹿児島大学大学院連合農学研究科・ ²⁾ 鹿児島大学農学部
11:30	11	ボタンボウフウの鹿児島県における分布に関する研究 2. 種子島, 沖永良部島および加計呂麻島における分布 *志水勝好・東 弘菜・一谷勝之 鹿児島大学農学部	22	◎宮古諸島におけるハマササゲ (<i>Vigna marina</i>) の分布および 生理生態的特性の評価 *瀧澤莉紗 ¹⁾ ・菊野日出彦 ²⁾ ¹⁾ 東京農業大学国際農業開発学科・ ²⁾ 東京農業大学宮古亜熱帯農場
昼休み (12:00 ~ 13:20)				
13:20	総会 (~13:50)			
14:00	学会賞授賞式 (~14:10)			
14:10	受賞記念講演 (~14:50) 奨励賞 「熱帯産ヤムイモにおける生物的窒素固定と窒素固定細菌の共生に関する研究」 高田花奈子 (国際農林水産業研究センター) ヤングサイエンティスト賞 「パッションフルーツにおける高品質果実安定生産のための環境条件の解明に関する研究」 島田温史 (玉川大学)			
14:50	学生優秀発表賞授賞式 (~15:00)			
15:00	oVice の使用方法の説明			
15:30	懇親会 (oVice を利用した遠隔実施, ~16:30)			

※午後の総会・学会賞授賞式・受賞記念講演・学生優秀発表賞授賞式および懇親会は、第一会場でを行います。

第2日 3月16日(水)

開始時刻	第一会場			第二会場		
	座長	番号	講演題目	座長	番号	講演題目
10:00	松田大志・国際農研	23	<p>キュウリにおける紫外線による病害抵抗性の誘導メカニズム</p> <p>*佐藤達雄¹⁾・Dinar Mindrati Fardhani²⁾・Agung Dian Kharisma²⁾・Nur Akbar Arofattullah³⁾・セタ小百合¹⁾</p> <p>¹⁾茨城大学農学部附属国際フィールド農学センター・²⁾東京農工大学連合農学研究科・³⁾ガジャ・マダ大学</p>	江原宏・名古屋大	28	<p>21世紀の熱帯を対象とした農学のあり方を問う：人新世の農業のあり方と農学との関係に関する一考察</p> <p>*山根裕子・伊藤香純</p> <p>名古屋大学農学国際教育センター</p>
10:15		24	<p>Rad-seq 法を用いた日本・東南アジア・ミクロネシアのキダチトウガラシの系統解析</p> <p>*山本宗立¹⁾・小枝壮太²⁾・中野龍太郎²⁾・阪口翔太³⁾・永野 惇⁴⁾・田中義行⁵⁾・松島憲一⁶⁾</p> <p>¹⁾鹿児島大学国際島嶼教育研究センター・²⁾近畿大学大学院農学研究科・³⁾京都大学大学院人間・環境学研究科・⁴⁾龍谷大学農学部／慶應義塾大学先端生命科学研究所・⁵⁾京都大学大学院農学研究科・⁶⁾信州大学学術研究院（農学系）</p>		29	<p>Changing Rural Livelihood and Rethinking the Role of Community Forests in Bhutan: A Case Study of Dzong Thing Phendeyling Community Forest, Trashigang District</p> <p>*Yoshio Akamatsu¹⁾・Abi Chandra Acharya²⁾・¹⁾CSEAS, Kyoto University・²⁾Happy Farmers Group, Bartsham</p>
10:30		25	<p>沖縄県におけるシークワーサー(<i>Citrus depressa</i> Hayata)の遺伝的多様性と栽培系統</p> <p>*光部史将¹⁾・奥古田尚子^{1),2)}・保坂ふみ子³⁾・藤井浩³⁾・島田武彦³⁾・澤村豊³⁾・山本俊哉^{3),4)}</p> <p>¹⁾沖縄県農業研究センター名護支所・²⁾現：宮古農林水産振興センター・³⁾農研機構果樹茶業研究部門・⁴⁾現：農研機構本部</p>		30	<p>バングラデシュ・ジャムナ氾濫原 D 村における農民のジャガイモ栽培</p> <p>*安藤和雄¹⁾・内田晴夫²⁾</p> <p>¹⁾京都大学東南アジア地域研究研究所/名古屋大学大学院生命農学研究科・²⁾京都大学東南アジア地域研究研究所</p>

10:45	26	<p>沖縄県において 12 月に高品質果実が収穫可能な有望中晩柑‘津之輝’の特性 *光部史将¹⁾・金城美沙¹⁾・阿波根直恭^{1),2)} ¹⁾沖縄県農業研究センター名護支所・²⁾現：沖縄県立農業大学校</p>	西脇淳子・茨大	31	<p>北西インドにおける温室効果ガス生成に及ぼす影響因子と 持続可能な土壌および有機物管理（予報） *犬伏和之¹⁾・須藤重人²⁾・西原英治³⁾・浅田晴久⁴⁾・佐藤孝宏⁵⁾・村尾るみこ⁶⁾・高田将志⁴⁾・M. CHANDRA⁷⁾・K. VATTA⁸⁾・林田佐智子^{4),6)} ¹⁾千葉大学・²⁾農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境研究部門・³⁾鳥取大学・⁴⁾奈良女子大学・⁵⁾弘前大学・⁶⁾総合地球環境学研究所・⁷⁾ラブリープロフェッショナル大学・⁸⁾パンジャブ農業大学</p>
11:00	27	<p>鹿児島県黒島の在来カンキツ *山本雅史・谷 佳那美・香西直子 鹿児島大学農学部</p>		32	<p>インドネシア・ボゴール市近郊の水田土壌における有機農業の継続年数と土壌有機物との関係 *坂上伸生¹⁾・浅木直美¹⁾・小松崎将一¹⁾・Syuaib M Faiz²⁾・¹⁾茨城大学農学部・²⁾ボゴール農科大学農業工学部</p>
昼休み（11：30 ～ 13：00）					
13:00	<p style="text-align: center;">公開シンポジウム（～ 15：30） 「カカオとチョコレート ～Towards the Future～」</p> <p>司会 坂上伸生（茨城大学）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インドネシアの小規模農園におけるカカオ栽培と問題点」 Ani Widiastuti ガジャ・マダ大学農学部 准教授 ・「カカオ豆の発酵と微生物について」 大西章博 東京農業大学応用生物科学部 准教授 ・「インドネシアにおける発酵済カカオ豆増産に向けた共同事業会社」 Rachmad Gunadi ガジャ・マダ大学農学部／PT Pagilaran 取締役 ・「カカオの可能性を拓く～付加価値創出に向けた Dari K の挑戦～」 吉野慶一 Dari K 株式会社 代表取締役 ・「チョコレートに託す茨城の魅力～la main par la main～」 達 聖 パティスリー ショコラトリー ダルメゾン ・「チョコレートのおいしさは何で決まるか？」 佐藤清隆 広島大学 大学院生物圏科学研究科 名誉教授 ・総合討論 				

※午後の公開シンポジウムは、Zoom ウェビナーで行います。